

山本
佐
西

昭和三十五年十一月二十九日招集

第六回市議会臨時会々議録

館山市議會臨時會々議錄

昭和三年十一月招集

十一月二十九日（火曜日）

一現在議員三四名でその氏名次の通り

一 番 山 本 早 二 番 脇 田 順 一

三 番 三 沢 節 四 番 志 村 信 作

五 番 岩 崎 靜 敬 六 番 嶋 田 繁

九 番 吉 田 勇 治 郎 一 〇 番 佐 野 信

一 一 番 川 名 秀 吉 一 二 番 黒 川 佐 太 郎

一 三 番 長 谷 川 光 江 一 四 番 江 田 徳 太 郎

一 五 番 小 林 寅 三 助 一 六 番 石 井 孝

一 七 番 安 沢 徳 順 一 八 番 安 西 政 治

一 九 番 法 木 嗣 郎 二 〇 番 萩 生 四 七 郎

二 一 番 後 藤 四 三 二 二 番 田 中 祿 郎

二三番 吉田辰雄 二四番 飯田義男

二五番 鈴木市藏 二六番 鈴木茂太郎

二七番 田中忠藏 二八番 加藤良太郎

二九番 徳山日禰子 三〇番 北山茂雄

三一番 田村喜兵衛 三二番 鈴木存

三三番 山口幸三 三四番 松本藤太郎

三五番 山口康 三六番 鴻貫壮作

一議事日程

第一議案第九号 館山市公営住宅新設工事請負契約締結について

第二議案第九号 渡石南澳港災害復旧工事請負契約締結について

〔法第九十一條による出席説明員〕

市長 田村利男

助役 小出武男

總務課長 山口実

建設課長 新井重助

商工水産課長 羽山房雄

祕書課長 山谷潤祖

一本議会の事務局長書記および職員

事務局長 高梨清一

書記 太田博雄

職員 兵藤恭一

同 山口晴之

一千後二時十分開会

一出席議員 三一名

一欠席議員 三一名

二番 脇田順一 二九番 遠山ヨネ子

三六番 鴻貫壮作

議長山本 早 君 本日の出席議員数=九名 以下より第

六町市議會臨時會を開会いたします。

本臨時會へ議案審議のため田村市長、小出助役、定戸收入役、山口課長、新井課長、礪山課長、山谷課長以上の出席を求めまして、この報告いたします。

會議録署名員の決定を行います。

本臨時會へ會議録へ署名員に一番議員佐野信君、二番議員安西政治君以上両君を指名いたします。これより御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長山本昇君御異議ございませんと認めます。

よって決定いたします。

議案を配付いたします。

(議案配付)

議長(山本昇君)配付もございませんか。

なりと認めます。

会期の決定を行います。

本臨時会の会期について議会運営協議会の意見は本日
一日ということとあります。

お認りいただけます。会期を一日と定めますことに御異議
ありませんか。

(異議なし)と呼ぶ者あり)

議長(山本 早君)御異議なしと認めます。

よって決定いたします。

本日の議事はお手元に配付の日程表により進みます。
この際議案説明のため市長の発言を求めます。

(田村利男君 登壇)

市長(田村利男君)本日臨時市議会を招集いただきまして当面取
急を要する案件につきまして御審議を願うことにな

一々次第でございます。

提案一より二案件といなり。これは第一に館山市公営住宅新設工事請負契約の件でございます。

第二として波左間湊港災害復旧工事請負契約の締結でございまして詳細は担当職員より説明させていただきます。よろしく御審議の上御議決のほどを御願ひ申しこざる次第でございます。

議長（山本 早） 君。日程第一議案第九号を上げます。

（書記朗読）

議案第九号 館山市公営住宅新設工事請負契約の締結について建設課長（新井 重助） 君。議案第九号につきまして御説

明いたします。

公営住宅はかねてより建設を急いであります。この今更にようやく設定の承認を得まして、この請負をいよいよと考へて次第でございます。

入札は今日の二日市内の請負業者一社を選定し
マーマーとその氏名は宇山工業株式会社、計工務店
高橋工務店、岡万次郎、石井工務店、山崎工務店、富士
建設株式会社、田辺工務店、渡辺政雄、館山工業
株式会社以上一社を指名し、マーマーと競争入札に
し、マーマーの結果、渡辺政雄が六百四十万円の最低で
ござい、マーマーで渡辺政雄と契約を締結して本工
事の完成を期し、マーマーと思っております。

内容を申し上げますと、第一種住宅と第二種住宅がござい
ます。第一種は坪数が一坪五合で、これが丁ニ戸

第二種住宅は建坪が一坪五合で八戸、合計二戸建て
る予定でござい、マーマーで付近の道路
をなおすのですが、裏に囲面がござい、マーマーで、これが
よって泥づい、マーマー。

果
道の書いてございます。洲の傍の方にかく道路で

ございます。予定地といましては中三本道
路を作りましてそれが四メートルの道路とすわ
て一番右に書いてあるこれが中央道路として作りま
す。あとは建築基準法に従いまして幅四メートル
の道路を作りまして道路を作り下水を作り
幸い宮城水道が参ってありますのでこれを引い
て全部の工費といまして六百四十万円、
渡辺政雄が落札いましてしたのでこれと契約い
工事の完成を期したいと思つてあります。

。四番（志村信作君）宮城水道と利用されるお話しですが
昨手当りは水不足であつたように聞いてあります
新にこれだけの家に水道を引くことになりま
す。水不足になると思つてますが、その対策はお

考へになつていらつしやいますか。

・建設課長(新井重助君)一応これであつてみろして将来足らぬ場合には井戸施設等考へていふまいと思つてエリ
ます下

・ニッ番(萩生田七郎君)これが着工定取期日入居方法。これが
運営管理方法等について簡単に御答弁願ひたい。
・建設課長(新井重助君)着工は本日御承認願ひれば明日
契約いっしょして約二〇日間と予定してエりますの
で三月初旬竣工をせざる予定です。

・福祉事務所長(長谷川玄治君)管理運営の面で御答弁
申しあげます。

入居者の選考は住宅に困窮する度合と従ひまして
細かい点裁判がございすすがこれを検査いっしょして
点数の多い人が住宅に困つておる。こういうことで点教

の多い方から入居をきめていくことになる、とあります。
なお入居者の公募と申しますか。これは新聞や公
報等で全部にわたるように周知徹底の上公募
とする、こういうことでございします。

家賃について、これは帯工事、^{保険料}等がで
ており、まさんのでは、より申しとげられますが、大休
二種住宅で千両月見当、一種住宅で二千両月見
当、これはいいかと考え、とあります。

○二五番（鈴木市蔵君）ちよつと伺います。が市営住宅について
五年間入ると買ふことができると言っているのですが、その
点と同ってみたいと思ひます。

○福祉事務局長（長谷川六治君）五年間という制限はございま
せん。建設省が許可する、^{入居}場合は最低三年以上
で、おし下りしてもいい、となつておりますが、大体

建設省の方針として、二八年度以前に建てたものについて、は、払い下げを認める。それ以後のものについては、今、ところ、払い下げを認めない方針でございます。五年という期限は別でございまして。

○三番(鈴木 孝) 田舎にこうして住宅があります。あ、払い下げてもらいたいという意見があります。が、あればどうやって取りまようか。

○福祉事務局長(長谷川 元治) 二八年度住宅だ、々、と思います。すが、二八年であれば、建設省の許可があれば、払い下げ可能である。こういうことになりそうです。

○三番(鈴木 孝) 払い下げが出来るようになり、せの払い下げてい、ま、い、と思、います。

○三番(栗田村 喜兵衛) 田舎の場合、どうやって取りま、か。福祉事務局長(長谷川 元治) 田舎の場合、住宅は、果、然、と、申、す。

しても災害住宅ということでは建設といわなければならない。現在のところは払い下げ不能でございます。

来年ありにござりますと建設省の予算関係から財源をさくても多く得ると払い下げになる可能性もありますが、今までのところ払い下げの可能性はありません。

二四番（江田徳太郎君）この工事の施行につきまして監督監査の点でござりますが、市におきまして、この課がやるか、同じいことですか。

建設課長新井重助君お答えいたします。

本件は建設省関係で建設課が一切責任をもつて施行いたします。これは国庫補助関係がござりますのでござりますと会計検査院へ検査がござります。なるべく検査に通るようになりたいと思っております。

○三四番(松本)藤太郎君 筆名に軍の私の下りの建物厚生寮
です。大分入っておられるのですが、手配が大部で、お
つて危険建物として退去を命じられたというところ
新聞で知ったのでございす。すがその後そこに住んで
ある方々の方の話とお聞きますと市営住宅がで
きる、その方々へばうくの向だから入れてもらいたい
市営住宅ができれば優先的にしていくと、こういうた
ようなことと、これは責任のある人ではないので別
にエドして取りまさんが、果してそういうような考
えが当否にあるのかどうか、今後実際にこれをやっ
ていくとき、そういうようなものを考慮されていく
のかどうか、この点と、同じだと思います。

福祉事務部長(長谷川) 宏治君 回答之申し上げます。

いりし入居者の条件等があり、ます。うで、その条件が同

程度であればなるべく厚生寮に入つてゐる方を優先
させたいと考えておりますが条件がいろいろ違ふ場合に
は厚生寮に入つておつても優先的に入れるというこ
とは私どもとしては考えておりません。

○三四番（松本藤太郎君）退校のりす。今厚生寮に入つて
おる人々とはどの位あるかわかりませんが、おそらく
一定の収入のある方であれば退去を命じられてお
るという関係上最大の考慮が払われて新しい市
民住宅といふ条件としてでは整つてゐると思ふ。
ただ今おしやるのは家族の人数構成あるいは収
入、家賃が払えるかどうかをいふと、

現在どの位世帯がありまうか、

○福祉事務所長（長谷川宏治君）現在二三世帯入つておりまう。

○三四番（松本藤太郎君）資格のあると思われらるうはどの位あ

りますか、

。福祉事務局長（長谷川 広治君）資格と申しましていろいろあるのですが、収入の面から考えていきますと、第一種住宅に
住みますのは一万六千円以下、第二種住宅に
入りますのは一万六千円から三万二千円までの間と
なっておりますが、収入面では第一種住宅に
入居者の条例と申
しますのは、もう細かい条例もありますので
一概に厚生寮に入っているか、優先させるということ
は考えておりません。

。三四番（松本 藤太郎君）よくわかりました。

向題は危険建物に入っており、市民住宅ができるま
で入っているのだ、こういうふうに入っている人は、い
ある、だからそういう点を考慮して、今から誤解の

ない。うに當局ではや、てい、ま、たいと考えて、
ますので申しエゲたわけでございます。

議長(山本 昇) 議案第九号 討論省界 原案通り決
定。い、ま、ま、す。に 御異議ございせんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(山本 昇) 御異議なしと認めます。

よ、て 議案第九号は原案通り決定。い、ま、ま、す。

議長(山本 昇) 続いて日程第二 議案第九号 上程
い、ま、ま、す。

(書面 朗読)

議案第九号 波左間湊港災害復旧工事請負契約の締結に
ついて

商工課長(羽山 彦雄) 議案第九号につきまして御説明申

イエグります

本工事は去る三三年の十一月、台風一三号で被害を
受けました。波左間漁港の所収提の災害復旧工事で
ありまして、すでに国の災害復旧の査定が終つてい
りますので、本年度の当初予算にふさぎまして、この工
事費の予算が議決といふこともないのでございます。

また、今回市内の請負業者のうち、館山工業、安藤建
設、高橋工務店、工務店、大滝工務店の五社を指名し
た。そして競争入札をしまして、結果最低入札者の
大滝工務店と本議案のようによつて請負契約を締結し
ようとするものでございます。なお工事の内容で

ございまして、防波堤の先端のめがため補強工事
といふ、まして延長一六メートル、水中はら打ら
コニクリートと、こ六五・三五立方メートル、その他

倒壊の据付け工事としまして大体二へ取りつける
ことになったとあります。以上。

○三番(田村喜兵衛君)今災害工事といふことあります。が、その一部において果単となつてあります。が、それに
ついて聞きたい。

○商工水産課長(羽山彦雄君)当初予算に際して申してござ
います。と、うたこれには三三年度の災害として、
国庫補助金、すなわちこれに対する果への補助金が
査定されておるわけでありまして、果単事業に
はあります。

○三番(田村喜兵衛君)全部国庫ですか。

○商工水産課長(羽山彦雄君)国庫補助金が大體三分の二、
六六、七五、五十一、万四千円、果への補助金が、一〇〇、分、五、
三、万九千円、これが向うかうくるものでございます。

○三一番(内村喜兵衛)工事の負担金は地えがどの位でしょうか。

○商工水産課長(羽山房雄) 地え負担金は工事費のうち工事労賃を除いた七丁四万九千円に対する国庫と県費の補助金を除いた額に二分の一を当ります丁十万七千円でございます。

○三一番(内村喜兵衛) それは館山市全額ですか、

○商工水産課長(羽山房雄) 館山市はそれ以外に市の持ち出しが十一万七千円ございます。

○三一番(内村喜兵衛) この漁港の問題は県においても第一種漁港は水産課において、第二種は建設課においてという問題がありますので館山市もこれら水産課でなくて建設課へもっていったらいいかと思いますが、これをこの際要望いたします。

○議長(山本 昇) 議案第九号は討論省略、原案通り決定。はい。ます。ことに御異議ございせんか。

(「異議あり」と呼ぶ者あり)

○議長(山本 昇) 御異議ありと認めます。

よって議案第九号は原案通り決定。はい。ます。以上で今日の会議を終ります。 閉会。はい。ます。

二時三十分閉会

昭和三十一年十月二十九日

右会議の次第を録し、ここに署名す。

富山県議会議長

同 署名議員

同

山本 昇
安西 政治
佐野 信

